

福島

岩手

東北三県 情報発信！

宮城



福島県市長会長
相馬市長 立谷 秀清

福島県の市町村は、今日も東日本大震災からの復興に全力で取り組んでいます。

私たち福島県民にとって何よりうれしいのは、全国の皆さんに今の「がんばる福島県」を素直に観て、食べて、飲んで、買って、触れ合って、笑顔の輪を広げていただくことです。

これまでのご支援に心より感謝申し上げますとともに、変わぬ応援をよろしくお願いします。

【観光などについての問い合わせ先】 福島県観光物産交流協会（☎福島 024・525・4024）



磐梯吾妻スカイライン

△日本の道百選に選ばれ、季節ごとに雄大で変化に富んださまざまな景色を展開する。



鶴ヶ城

◁幕末時代の赤瓦をまとった日本で唯一の天守閣。
平成27年4月には、天守閣再建50周年を記念して、展示室が全面リニューアルされた。



大内宿



三春駒

△黒駒は子宝・安産・子育て、白駒は老後安泰・長寿のお守りとして知られる。



仙台城址・伊達政宗公騎馬像

△伊達政宗公が要害の地に築いた仙台城（青葉城）。像の近くから仙台市街を一望できる。



みやぎ蔵王の水仙

◁4月下旬～5月中旬ごろが見ごろで、グレンデが約30種以上・50万株の水仙で埋め尽くされる。ゴンドラの運行、残雪でのそり遊びや水仙の球根の販売なども行われる。



慶長使節船ミュージアム

▷1613年（慶長18年）、支倉常長ら慶長遣欧使節一行を乗せたサン・ファン・パウティスタ号を復元。400年の時を経てよみがえった船が悠然と浮かんでいる。



キラキラ丼

△「春告げ丼」「うに丼」「秋旨丼」「いくら丼」という南三陸町のシンボリックなご当地グルメ。

宮城県市長会長
仙台市長 奥山 恵美子

東日本大震災にかかり、全国の皆様から温かいご支援を賜り感謝申し上げます。

ご支援により復興しつつある宮城県内各地に足をお運びいただき、ぜひとも豊富な食材や自然、温泉、歴史など各市の魅力存分に楽しんでいただきたいと思います。

皆様に安心して旅を楽しんでいただけるようおもてなしをすることがさらなる復興の励みとなりますので、今後も応援をお願いいたします。

【観光などについての問い合わせ先】 宮城県観光情報発信センター（☎宮城 022・211・2822）



岩手県市長会長
盛岡市長 谷藤 裕明

東日本大震災津波からの復興にあたっては、全国の皆様から多くのご支援と励ましを賜り、心から感謝申し上げます。

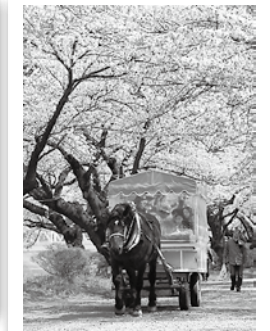
岩手県では、平成28年に復興の架け橋として「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」を開催します。全国の皆様にご来県いただき、岩手の魅力を知って、買って、食べていただくことが、復興の大きな力となります。今後とも、岩手の復興への歩みと地域活性化に応援をお願いいたします。

【観光などについての問い合わせ先】 いわて観光キャンペーン推進協議会（☎岩手 019・629・5572）



浄土ヶ浜

△青い海と空、松林の緑が鮮やかなコントラストをなす三陸復興国立公園を代表する景勝地。



北上展勝地

◁北上川沿いに約1万本の桜が咲き乱れるみちのく三大桜名所のひとつ。約2kmにおよぶ桜並木をノスタルジックな観光馬車が走る。



奇跡の一本松



イサダ

△三陸広域で採れるエビで、抗酸化成分を含み、アンチエイジング効果も期待できる食材。

当市の被災地復興支援への取り組みなどを紹介します

岩手県野田村 支援・交流活動

震災直後から現在まで、弘前大学ボランティアセンターと市が協働で岩手県九戸郡野田村の支援・交流活動を行っています。震災直後は、がれきの撤去作業などの人的支援を主に行ってききましたが、現在は茶話会などの交流活動を重点的にを行っています。



△野田村で支援・交流活動を行うボランティアの皆さん

野田村での活動実績

年度	派遣回数	活動内容	参加人数 (延べ)
23	32	がれき撤去（～平成23年8月）、茶話会、イベントの主催・手伝いなどの交流、小学生へ弘前市民からのクリスマスプレゼント、小・中学校への学習支援など	1,214
24	15		394
25	15		442
26	12		400
27 (1月末現在)	10		341
計	84		2,791

野田村役場で働く元弘前市職員



野田村役場
地域整備課
小山 博文 さん

震災直後から被災地の復興支援に従事したいという思いがあり、弘前市役所の退職を機に野田村役場で土木技師として働くことになりました。

「南部の桜は石を割って咲く」といわれるように、苦難に立ち向かいこつこつと努力する県民性が野田村の皆さんから感じられます。

現在、国では八戸と仙台を結ぶ三陸沿岸道路を整備しています。それを活用する産業との結びつきや復興公園を活用し、村内に人が流入する施策が整ったときに、真の復興が果たされると考えています。